

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
6	17タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)	伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと 壁面 図示による 施工後の確認及試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない	7	塗装工程 (7.4.2) ~ (7.15.2)	工程の種類 (表7.4.1) ~ (表7.14.1)	8・2	1 コンクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.2)
	18セルフレベルング材塗り (6.17.2)	種類及び品質は表6.17.1による セッコウ系 セメント系 厚さ(mm) 10 15		塗装改修工事	塗装改修工事		普通コンクリート 打設部位 Fc(N/mm2) スランプ(cm) 備考 構造体 基礎 2 1 上部 2 1 軽量コンクリート 打設部位 Fc(N/mm2) スランプ(cm) 備考 2 1 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { Fc + 構造体強度補正値(S) } N/mm2 (標尺6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種(施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種(施工箇所) 骨材 粗骨材 砂利(JIS A5308), 砕石(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂(JIS A5308), 砕砂(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ ファイバーラスラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) 混和材料 混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の 種(JIS A6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ(JIS A6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム(JIS A 6207) コンクリート用膨張材(JIS A 6202) 3 構造体強度補正値 (8.2.5) 気温による構造体強度補正値(S) (表8.2.4) 予想平均気温() 補正値() 期間 (打設日) 普通 : 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 : 5以上 3 3/6 - 6/31 3/11 - 7/20 3/11 - 7/10 N/mm2 9/11 - 11/15 9/1 - 11/5 9/1 - 10/31 0以上 : 0以上 6 11/16 - 3/5 11/ 6 - 3/10 11/ 1 - 3/10 8未満 : 5未満 N/mm2 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む) 4 構造体用モルタルフロアー値 (8.2.6) 型枠(せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8) 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ(mm) 1 2 打放し仕上げのせき板 合板せき板を用いる場合 (表8.1.3) 種 別 板 面 の 品 質 施 工 箇 所 A 種 8.2.7(b)(1) B 種 8.2.7(b)(2) C 種 8.2.7(b)(2) 合板せき板を用いない場合 せき板の種類 スリーブの材種 (表8.2.6) 適用箇所 材 種 (規 格 そ の 他) 水密を要する地中部分等 つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm以上、 つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U) 上記以外の円形スリーブ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示による 2 0 mm シアコネクターとセパレーターの兼用 可 不可 フレッシュコンクリートの試験 省略する 7 軽量コンクリート (8.9.1) 常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種別 1種 2種 施工箇所 気乾単位容積質量 t/m3
7	塗装材料 (7.1.3)	塗料ホルムアルデヒド等の放散量 F (表7.2.1) ~ (表7.2.7)	7	下地調整 (7.2.2) ~ (7.2.7)	素地 種別 備考 木部 RA種 RB種 RC種 鉄鋼面 RA種 RB種 RC種 亜鉛めっき鋼面 RA種 RB種 RC種 モルタル及び ブラスター面 RA種 RB種 RC種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及び A L Cパネル面 RA種 RB種 RC種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及び 押出成形セメント面 RA種 RB種 RC種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない セッコウボード及び その他が-ド面 RA種 RB種 RC種	8・1	2 普通コンクリートの材料 (8.2.5)
	下地調整 (7.2.2) ~ (7.2.7)	塗料ホルムアルデヒド等の放散量 F (表7.2.1) ~ (表7.2.7)		耐震補強工事 (鉄筋工事)	耐震補強工事 (鉄筋工事)		1 鉄筋の種類 (8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備考 S D 2 9 5 A D 1 6 以下 S D 3 4 5 D 1 9 以上 SD295AはFc:21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する 2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 3 鉄筋の継手 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3) 部 位 接 合 方 法 径(mm) 重ね継手の長さ 重ね継手 ガス圧接継手 D 1 9 以上 改修標仕 機械式継手 溶接継手 8.3.4(c)による 重ね継手 ガス圧接継手 D 1 6 以下 別図表による 機械式継手 溶接継手 種類 工法 品質確認方法、修正方法等 種類 工法 品質確認方法、修正方法等 鉄筋継手位置 構造図による 表8.3.3による 柱に取付る梁の引張り鉄筋の定着長さ 構造図による 表8.3.4による 4 柱の帯筋 (8.3.4) H型 W- 型 W- 型 図示 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所等 最小かぶり厚さ(mm) 機械式継手及び溶接継手のあき 6 壁の配筋及び補強 (8.3.7) 構造特記による 7 圧接完了後の試験 (8.3.8) 試験方法 超音波探傷試験 引張試験
8	18セルフレベルング材塗り (6.17.2)	種類及び品質は表6.17.1による セッコウ系 セメント系 厚さ(mm) 10 15	8・1	1 鉄筋の種類 (8.2.1)	異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備考 S D 2 9 5 A D 1 6 以下 S D 3 4 5 D 1 9 以上 SD295AはFc:21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	8・3	3 構造体強度補正値 (8.2.5)
	下地調整 (7.2.2) ~ (7.2.7)	素地 種別 備考 木部 RA種 RB種 RC種 鉄鋼面 RA種 RB種 RC種 亜鉛めっき鋼面 RA種 RB種 RC種 モルタル及び ブラスター面 RA種 RB種 RC種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及び A L Cパネル面 RA種 RB種 RC種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及び 押出成形セメント面 RA種 RB種 RC種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない セッコウボード及び その他が-ド面 RA種 RB種 RC種		耐震補強工事 (鉄筋工事)	耐震補強工事 (鉄筋工事)		2 普通コンクリートの材料 (8.2.5) 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種(施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種(施工箇所) 骨材 粗骨材 砂利(JIS A5308), 砕石(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂(JIS A5308), 砕砂(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ ファイバーラスラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) 混和材料 混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の 種(JIS A6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ(JIS A6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム(JIS A 6207) コンクリート用膨張材(JIS A 6202) 3 構造体強度補正値 (8.2.5) 気温による構造体強度補正値(S) (表8.2.4) 予想平均気温() 補正値() 期間 (打設日) 普通 : 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 : 5以上 3 3/6 - 6/31 3/11 - 7/20 3/11 - 7/10 N/mm2 9/11 - 11/15 9/1 - 11/5 9/1 - 10/31 0以上 : 0以上 6 11/16 - 3/5 11/ 6 - 3/10 11/ 1 - 3/10 8未満 : 5未満 N/mm2 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む) 4 構造体用モルタルフロアー値 (8.2.6) 型枠(せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8) 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ(mm) 1 2 打放し仕上げのせき板 合板せき板を用いる場合 (表8.1.3) 種 別 板 面 の 品 質 施 工 箇 所 A 種 8.2.7(b)(1) B 種 8.2.7(b)(2) C 種 8.2.7(b)(2) 合板せき板を用いない場合 せき板の種類 スリーブの材種 (表8.2.6) 適用箇所 材 種 (規 格 そ の 他) 水密を要する地中部分等 つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm以上、 つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U) 上記以外の円形スリーブ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示による 2 0 mm シアコネクターとセパレーターの兼用 可 不可 フレッシュコンクリートの試験 省略する 7 軽量コンクリート (8.9.1) 常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種別 1種 2種 施工箇所 気乾単位容積質量 t/m3